

カンボジアレポート

VOL. 2

将来のカンボジアと今

北薩地域労協（JLP労組）

新地 真也

1月27日～31日の3泊5日の行程で行われたカンボジアの教育環境の視察に参加させていただきました。ポル・ポト政権時代に大量虐殺のあった刑務所跡地の見学から始まり、アンコールワットの見学、アンコールトムでの象乗り体験、トンレサップ湖のクルーズ体験もできました。ここでは当たり前だと思っている日本での教育現場が大変恵まれていることを感じました。

まず、そこでは幼稚園児ぐらいの子どもから小学生までが一緒に勉強していました。年齢の異なる子どもたちを教える先生も授業を受ける子どもたちも、一緒に理解を進めていくのは難しいのではと感じました。しかし、そんな中でも目をキラキラさせながら勉強に励む子どもたちの姿を見て勉強環境の壁は少しも感じられませんでした。

二校目は、児童保護施設を訪ねました。そこでは訳あって親と一緒に暮らせない子どもたちが生活しており、子どもたちから伝統舞踊で歓迎されました。この子どもたちも常に笑顔で目を輝かせていました。

最後にプリア・エンコセイ小学校を訪ねました。正門前から子どもたちのアーチで迎えられました。ここでも子どもたちから伝統舞踊で歓迎を受け、その後校長先生と一時間程お話をさせていただきました。お金がなく天井にあいた穴がそのままであることや水道設備が不十分だということを知りました。カンボジアでは、どの地域も水道設備

首都プノンペンから車で一時間ほどの所にある寺子屋を訪ねし

ました。そこでは幼稚園児ぐらいの子どもから小学生までが一緒に勉強していました。年齢の異なる子どもたちを教える先生も授業を受ける子どもたちも、一緒に理解を進めていくのは難しいのではと感じました。しかし、そんな中でも目をキラキラさせながら勉強に励む子どもたちの姿を見て勉強環境の壁は少しも感じられませんでした。



プリア・エンコセイ小学校の子どもたち

備の普及が早急の課題だということでした。

また、カンボジアの学校は午前と午後の二部に分かれていて、学校に通っていない時間帯は塾に通っているそうです。しかし、塾に通うのもお金が必要であり、勉強したいが家庭の事情で学ぶことのできない子どもたちが同校には多いとのことでした。

街中でも多くの高級車が走る一方で、信号待ちの車に物を売りにくる子どもたちも多く、格差の大きさを目の当たりにしました。今後、カンボジアの将来を担うであろうこのような子どもたちのためにも、自分にもできることを考えさせられた視察になりました。

“子どもの貧困”を見つめて

大隅地域労協（森林労連）

立石 明子

支援事業の視察というのは初めてで緊張の連続でしたが、自分の生活・社会を見つめ直す、とても貴重な経験となりました。

首都の隣県にある村の寺子屋を訪ねた際、教育環境はとも良いとは言えませんが、生き生きと学ぶ子どもたちを見て、勇気づけられました。子どもたち



寺子屋教室で長縄跳び

と長縄跳びや折紙で遊んだ最中には、子どもたちはやり方を興味津々に見つめており、“知りたい、学びたい”という欲求を強く感じる事ができました。街中では、豪邸の近くにあれば屋のよ

うな家が立ち並び、貧富の差を感じる場面に多く出会いました。

カンボジアでは、学習用品を買えない、農村部では学校が遠く通えない、労働力として駆り出されるなどの理由から、多くの子どもたちが小学校6年間すら教育を十分に受けられない状況にあります。また、学校は午前と午後の二部制授業を実施しており、足りない学習時間は塾で補っています。このような状況では、貧富の差が教育の格差に直

結してしまっています。貧困が親から子へ連鎖していくことを防ぐためには、学習環境を整える必要があるでしょう。加えてポル・ポト政権時代に知識層の85%が抹殺された影響を受け、教師の絶対数が不足しているそうです。

支援は依然必要です。しかし、依存にならないよう、カンボジアの人々が自国を自らより良くしていく基礎をつくるための支援こそが、本場に必要なのだと思います。そのためにも今回の事業のような信頼できる組織を通じてカンボジアの子どもたちの教育環境を改善するための支援は、大変意味のあることだと思いました。街中には子どもを抱いた母親や片足を失った物乞いがいて、地方には学校に行けない、行けても進学できない子どもたちが多くいるというカンボジアの現状が、この支援を糧に、カンボジアの人々の手で少しずつでも改善されていくことを信じます。

日本国内においても、子どもの相対貧困率は16・3%（平成24年時点）であり、“子どもの貧困”は対岸の火事ではありません。子どもたちの人生のため、ひいては社会全体をより良くするために、自分にできることを探そうと思います。

想像以上のカンボジア!!

九州労働金庫 加世田支店

支店長 浅井 直人

4年目となる「カンボジア寺子屋視察」に参加させていただきました。カンボジアと聞いて思い浮かべるのは、世界遺産のアンコールワットと内戦でした。近代化が進み、首都であるプノンペンを中心に日本企業も多く進出し、町全体は活気がみなぎっている印象を受けました。

しかし、インフラ整備など、日本との社会環境の差は大きく感じました。視察の目的である教育現場に目を向けても、日本では当たり前の教育がそこにはなく、その実態に愕然としました。過去を振り返ると、内戦が続いたポル・ポト政権時代に政府が学校教育を廃止し、学校の校舎は破壊もしくは軍の基地や刑務所などに使用されたとのことでした。その爪痕の一部は、現在、博物館として残されています。

また、当時の教員は知識人とみなされ、そのほとんどが殺されるか強制労働で命を落としたそうです。その影響もあり、カンボジアにおける教育は大きく遅れ、今でも建物や教員が不足

しています。特に教員の給与は、カンボジアで4人家族が1カ月生活するのに最低300ドル必要とされる中、月50ドル程度しかなく、なり手もないとのことでした。

訪問した寺子屋では、老朽化で使えなくなった高床式住居の1階部分に机を並べ、40人くらいの子どもたちが学んでいます。また、市街地の小学校は、校舎はあっても屋根に穴があき、雨の日は雨漏りの中、授業を行う環境でした。さらに、授業は午前・午後の2部制で十分な学びの時間も確保されていないとのことでした。それでも子どもたちは元気で明るく、その



プノンペンの市街地

瞳は爛々と輝き、学びたい思いを発していました。

そういった実態を目の当たりにしたことで、私たちの活動の重要性を認識し、見て見ぬふりをせず、できる支援・行動を継続することの必要性を強く感じました。カンボジアの貨幣価値は日本の40分の1程度とのものであり、私たちの支援活動も大きな意味を持ちます。だからこそ、私たちにできることをしっかりと考えなければならぬと感じました。

肌で感じたカンボジアの格差社会

全労済鹿児島本部 事業推進部

秋枝 将平

「200万人の大量虐殺」が当時人口800万人のカンボジアで行われたという、ポル・ポト政権の負の歴史を学ぶところから現地視察が始まりました。

カンボジアの平均年齢はなんと25歳とのこと。この若さは街を歩いているとすぐに分かります。

歩いても歩いても年配者に会えることは殆どありませんでした。こんなにも平均年齢が若いには、大虐殺の影響はもろん医療技術の遅れなどにより

病気になった人が若くして亡くなる人が多い、という理由もあるそうです。カンボジアでは十分な医学教育を受けられないため、国内では良質な治療を受けられない状態で、わざわざタイやベトナムまで行つて治療を受ける人もいます。しかし、国外治療を受けるためには莫大な費用がかかることから富裕層に限った話で、貧困層は不十分な国内の治療で我慢するしかない状況です。

また、至る所にカンパを求める人がいたり、バスの窓の外から幼い子供を抱いた母親が私たちにお金を求めてきます。貧しくて学校に行けない子どもたちが私たちの肩を叩いてきて「1ドルください」と言ってきます（全て親が子どもに金稼ぎをさせている）。このような中で、街を走る車の殆どが高級車だったり、スラム街の中に突然豪邸があつたりします。『はつきりとした貧富の差』がこの国にはあると感じました。

今回の支援先である寺子屋教室（非公式教育施設）や児童保護施設、プリア・エンコセイ小学校に訪問した際、現地の子どもたちによる伝統舞踊や歌でおもてなしいただきました。学用品



たくさん子どもたちが詰め込まれた教室

や玩具、生活用品などを寄贈し、授業や施設を見学したり、子どもたちと縄跳びやシャボン玉で遊んだりして交流しました。「壁がない教室」や「たくさん子どもが詰め込まれた教室」でも、子どもたちは元気で明るく楽しそうに勉強しており、自分たちが逆に元気を貰うほどでした。学校に行けず働いている子どもたちや、学校に行けても午前か午後しか授業を受けられず満足に勉強できない子どもたちがカンボジアにはいまだにたくさんいます。一刻も早く子どもたちに平等な教育の場を準備することが求められていると感じたカンボジア視察でした。

あなたのこころ 大丈夫？

臨床心理士 山藤奈穂子

発達障害がある人のためのソーシャル・スキル (8) 怒りをコントロール

Q 急に怒りを爆発させる人がいます。どうすれば防げますか？

A 発達障害があると感覚が過敏になり、他の人は気にならないことにイライラすることがあります。職場内の音や照明、においなど気に障るものがないかを確認し、あれば机の位置を変えるなど配慮をします。

「ストレスを感じて、困っている、悩んでいる、わからない」ことを自覚するのが苦手、黙っている可能性もあります。上司などが担当になり、できれ

ば1日10分程度の定期的な相談の時間を取ります。

仕事の進み具合やうまくいかないこと、ストレスを感じるものがないかを聞き出し、あれば一緒に対策を検討します。怒りが爆発する前に解決するのです。

Q 怒りが爆発したときは、どうすれば？

A 怒鳴ったりせず、静かな部屋に一人で休ませます。アロマや音楽、好きな動画など本人が落ち着くものを準備しておくといいですね。「爆発しそうなので10分休んできます」と自分でタイムアウトを取れるようにすることも大切です。

発達障害がある人は感情のコントロールが苦手ですが、一つのことを集中してやり続けたり、他の人が気付かない細かいことに注目したり、誰よりも正確な作業ができたりという高い能力を持っています。

職場の配慮が会社にとって大きな利益になります。「普通と違う」ことは周囲のサポートが必要な半面、大きな宝でもあるのです。

読者の声 201

労福協がカンボジアに教育支援をしていたことを今回初めて知りました。最終年度と言わず、今後も続けていたかったです。ありがとうございました。

(鹿児島市・女性)

おさかなポスト

ペットとして飼えなくなった金魚、コイ、陸ガメを生簀で引き取る運動です。多摩川ぞいの神奈川県川崎市稲田公園で、自然環境コンサルタントの山崎充哲さんが2005年に始めました。「人々が川に放流するのは『生き延びてほしい』という善意から。それが川の生態系に悪影響を及ぼす危険性を知ってもらったためにも『おさかなポスト』が有効と考えました」と設立のきっかけを話します。

年間1万件ほどの持ち込み



があり、引き取った魚は、生簀で飼い続けたり、有志が里親として引き取ったりしています。活動の成果により、稲田公園付近の外来種は減少がみられるといえます。

現役時代(小学校勤務)、給料天引きで労金に貯金していました。それが思いがけず多額(私にとつて)となつて、リタイアした今、どんなに助かったことか。ありがとうございます。

(指宿市・女性)

お疲れ様です。寒さが続く中、クイズの春一番は言葉だけで春が来そうな感じです。

(肝属郡・女性)

学生時代に借りた奨学金の返済に苦しめられている話を聞きます。子どもの貧困率も増す中

で格差が広がるばかりです。誰もが学びたいことを保障されるよう給付型奨学金制度の実現を望みます。

(薩摩郡・男性)

「同行避難」という言葉を初めて知りました。ペットを家族同様に思う人が増えていく昨今、遠慮せず堂々と連れて行けるのはよいことです。避難生活の慰めにもなつてくれると思います。

(鹿児島市・女性)

「歴史探訪in種子島2016」を開催

熊毛地域労協

熊毛地域労協「歴史探訪in種子島2016」は3月5日(土)、子供6人を含む24人が参加し、開催されました。

まず、訪れたのが種子島南種子町平山の太平洋に面した海岸砂丘上に立地する国史跡「広田遺跡のガイダンス施設」「広田遺跡ミュージアム」。弥生時代後期から古墳時代の90基の



「広田遺跡ミュージアム」前で記念撮影



神社の石段におひな様がざらり…

埋葬遺構から157体の人骨、44,000点以上の貝製品が出土し、特に「貝府(貝札)」「竜佩形貝製垂飾」の出土で知られています。ここでは地元の語り部による案内もあり、とても分かりやすく楽しくガイドしていただきました。

その後、南種子町茎永のたねがしま赤米館へ。赤米館では、宝満神社に伝承する赤米と、これに関わる民俗行事や地域の稲作文化などについて紹介してありました。

また、帰路の途中、土日限定で開催されていた今姫神社「むじよかひなまつり」に立ち寄り、石段に飾られた約350体のおひな様に参加者は、感嘆のため息をつきながら見入っていました。

雨にも負けずテニス大会

奄美地域労協

奄美地域労協は、3月6日(日)に奄美市名瀬運動公園テニスコートで、第21回労協ろうきん杯レディーステニス大会を開催しました。

当日はあいにく朝から雨が降る悪天候となりましたが、天候回復を祈りつつ開始時間を遅らせて試合を開始し、奄美



水たまりの中で悪戦苦闘

大島内の高校生と社会人23組がリンク予選と順位別トーナメントで技を競いました。

またこの大会では、乳がん撲滅活動の一環として早期受診を呼びかけるとともに、NPO法人ピンクリボン鹿児島島へ参加費の一部を寄付しています。結果は次のとおりです。

1位 トーナメント優勝…朝井和子・山倉彩花(らみーか・龍郷)ペア、2位 トーナメント優勝…里えりか・岩崎真子(龍郷)ペア、3・4位 トーナメント優勝…磯宏美・郡睦紀(上方)ペア。

「介護教室」認知症予防、始良伊佐地域労協

介護教室を3月10日(木)、隼人教育会館で開催し、42人が参加しました。講師に社会福祉士・認知症地域支援推進員の福田竜光さんを迎え、「認

知症予防」について講話いただきました。「まずは、認知症を知りましょう。早期発見・早期治療が大切だ」ということなどを分かりやすくお話しいただきました。後半は、認知症予防の脳の活性化を図るためのクイズや、足腰の衰えは要介護状態や認知症にもつながるという事から、家でも出来る簡単なロコモティブシンドローム(運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態)の

『そば打ち体験』を開催

奄美地域労協

奄美地域労協は3月13日(日)、『そば打ち体験』を開催しました。

奄美市の主要産業・サトウ



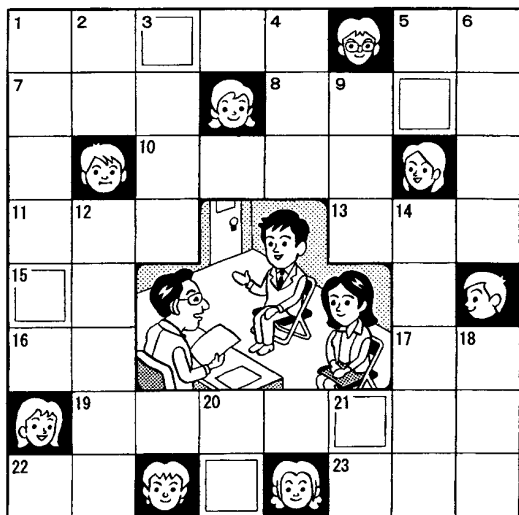
水加減も重要です

午前の部と午後の部に分かれ、計37人がそば打ちに挑戦しました。みんなで協力して作り上げたそばは、少々ふぞろいでも硬くても味は格別だったようで、反省や感想を語り合いながらの試食会となりました。



クイズの回答の早さに講師も笑みができました

チェックを行いました。個々に「できた、できない」で笑いありで大いに盛り上がりました。



《解き方》イラストをヒントにして、二重ワクの5文字をうまく並べてできる言葉は？

〔る〕
〔う〕
〔ふ〕
〔く〕
〔き〕
〔よ〕
〔う〕
〔夕〕
〔イ〕
〔ズ〕

23 22 19 17 16 15 13 11 10 8 7 5 1
えつ、新国立競技場にはこれを置く所がない？
力士が踏み入ります
入学……、快気……
国産牛のこと、ではない
今年5月、三重県で開かれる……サミット
「ゆりかえし」とも言う
腹八分目に……いらす
人気がないこと、評判が
悪いこと……が悪い
細……、殺……、滅……
なかなか増えませ
5月第2日曜日に贈りま
す
映画「男はつらいよ」全
作品に出演。俳優の前
田……
富裕層と貧困層に二極

21 20 18 14 12 9 6 5 4 3 2 1
タテのカギ
アメリカ合衆国の国旗で
す
一念……をも通す
会のメンバー
魚へんに弱いと書くのは
ダーウィンが進化論につ
いて書いた「……の起源」
歌「高校三年生」で、赤
い夕日に染まった所は？
義理の妹のことです
化学実験器具の代表格
初夏の若葉の色
応募作品を……して賞を
決めます
蚊が媒介するデング……
奈良公園の人気者

〔解答〕は必ずハガキで、自宅住所、名前、職場名、郵便番号を明記のこと。1人1通に限ります。なお、労福協各団体に対するご意見などお書きください。締め切りは2016年5月6日必着。今回も20人の方に賞品を進呈します。

〔送り先〕〒890-0064鹿児島市鴨池新町五-七-六〇三 鹿児島県労福協「クイズ」係

3月号のクイズの答え
多数の応募をいただきありがとうございます。応募総数は83通で、81通が正解でした。厳正な抽選の結果、下記の20人が当選されました。

クイズ当選者(敬称略)
前畑 登理 大原 尚
川畑 ゆりえ 田中 丈雄
永田 耕平 外園 剛
山之口 光雄 半田 吏子
中釜 い子 中野 汐里
恩田 昭雄 古賀 広子
上床 就路 後野 まどか
前田 隆一 池上 昭二
阿久根 裕一 中 英信
中野 康子 迫田 宏子



答え「サイクリング」

ひとりで悩んでいませんか？ 安心ネットが、あなたを応援します まずはお気軽にお電話を！

■労働相談：月曜日～金曜日（祝日除く）
■介護相談：火曜日
■住宅なんでも相談：木曜日
■多重債務相談：火曜日・金曜日
相談時間：午前10時～午後4時
その他：休日、時間外のご相談は、別途対応します。
相談は無料。ただし、専門家に依頼する場合、別途費用がかかる場合があります。

安心ネットかごしま ☎0120-307-830

鹿児島市鴨池新町5番7号 県労働者福祉会館6F
連合鹿児島地域協議会内

安心ネット始良伊佐 ☎0120-783-022

霧島市隼人町見次1089-1 ユーミー隼人ビル101
連合始良伊佐地域協議会内

ZENROSAI NEWS

住まいの備えは全労済の
住まいる共済で安心。

全労済の
住まいる共済



全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。 保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

九州ろうきん
勤労者ファミリー資金融資

鹿児島県とろうきんの提携融資制度
県内中小企業にお勤めの方に

融資資金
200万円
年2.0%

医療・結婚資金
150万円
年2.2%

育児・介護資金
100万円
年2.0%

別途保証料(年0.7%・年1.0%・年1.2%のいずれか)が必要となります

*九州ろうきんホームページアドレス

<http://kyusyu.rokin.or.jp>

*全労済ホームページアドレス

<http://www.zenrosai.coop>

*労福協ホームページアドレス

<http://kagoshima-rofuku.jp/>